

2020 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きを使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 2019年5月1日から、日本では、新しい年号「令和」が用いられることとなった。年号についての以下の文章をよく読んで、下記の設問に答えなさい。(25点)

年号は、主権者が支配している統治の年数を、その即位から何年というように数える方法として用いられることが多い。治世の途中であっても、形勢に新しく生気を与えようとして、または、なにかの慶事の出現を喜んで、改元することがある。中国の歴代王朝は、近隣の諸国や諸民族の長との間に(1)体制を構築したが、そのような体制の下では、中国の王朝に臣属している東アジアの諸王朝は、原則として、中国の年号を用いた。

年号の起源は、中国において、前漢の武帝が、即位の翌年である紀元前140年を、後に「建元」元年と遡って定めたのが、最初であるといわれている。武帝は、北方で漢を圧迫していた遊牧民を撃退し、さらに建元2年には、大月氏と同盟して同遊牧民を攻撃する目的で、張騫を使節として西域に派遣した。武帝はその治世の第5の年号である「元鼎」の時代に、漢の南にある南越を滅ぼし、第6の年号である「元封」の時代に、衛氏朝鮮を滅ぼして朝鮮北部に楽浪などの4郡をおいた。

朝鮮半島では、高句麗が4世紀初めに中国東北地方から南下して楽浪郡を滅ぼし、朝鮮半島北部を支配した。高句麗の最盛期の王である(2)は、中国の五胡十六国時代に「永楽」という年号を用いた。さらに、半島南部では新羅・百済が成立し、朝鮮半島では高句麗とともに三国が並び立った。これらの三国は、中国の南北朝時代に、中国の北朝・南朝に朝貢使節を送って(1)を受けた。高句麗は、独自の年号を6世紀まで一時的に用い、新羅も独自の年号を6世紀半ばから用い、唐が建国された618年の後も続いた。新羅・百済・高句麗の三国は、唐から624年に(1)を受けたが、新羅は650年になってようやく唐の年号「永徽」を採用した。この「永徽」6年(655年)には、中国では、のちの中国唯一の女性皇帝となる則天武后が唐の高宗の皇后になっている。

『日本書紀』によれば、日本は、「大化」の改新から、独自の年号を用い始めたとされている。もっとも、当時は年号の使用は安定しておらず、7世紀後半には年号が断絶した時期があった。この時期に、朝鮮半島の百済が滅亡し、日本はその復興のために援軍を送り、唐と新羅の連合軍に敗れた。その後、壬申の乱を経て即位した天武

天皇は、中央集権体制の強化に取り組み、701年に「大宝」として以降、独自の年号を用いた。このとき以来、日本は、独自の年号を維持している。

高句麗の滅亡後、大祚榮によって698年に建国された震国（のちに渤海と改める）は、第二代国王のときに独自の年号「仁安」を制定した。その後、900年に朝鮮半島南西部に成立した後百済や、10世紀初頭に渤海の南方に成立した後高句麗も、独自の年号を制定した。918年には高句麗の將軍である王建が高麗を建国した。高麗は、首都を開城に定め、独自の年号「天授」を制定したが、その後、五代十国の後唐・後晋・後漢の年号を用い、さらにその後再び、独自の年号「光徳」を一時用いたのちに、五代十国の後周の年号を用いた。

ベトナムでは、中国の南朝の梁から独立した前李朝が、6世紀半ばに、独自の年号「天徳」を用いていた。この王朝は、南はチャム人により建国されたチャンパーと接していた。前李朝が7世紀初頭に隋に滅ぼされた後、ベトナムの北部地域は中国に服属していたが、10世紀末に北宋に独立を認められた丁朝が、独自の年号「太平」を制定した。以来、ベトナムの王朝は、中国王朝と（ 1 ） 関係を結びながら国内では独自の年号を用いてきた。10世紀末から11世紀初めに、宋との紛争の中で成立した前黎朝も、独自の年号を有した。また、1009年に李氏によりベトナム北部に建国された李朝も、その後1225年からベトナム北部地域を支配した陳朝も、それぞれ独自の年号を制定していた。これらの王朝はいずれも広域支配にならず、中部から南部にかけて勢力を保持したチャンパーとの対立が続いた。

唐の滅亡後、遼河上流に起源を持ち、耶律阿保機により建国された契丹（遼）も、チベット系のタンゲート族の（ 3 ）^(c)によって建国された西夏も、女真族により建国され、その後、契丹（遼）を滅ぼした金も、また契丹の皇族である（ 4 ）により建国された西遼も、すべて独自の年号を有した。

14世紀に、元が民衆反乱で混乱し、明に大都を追われて元の帝室が建国した北元^(d)は、明と異なった年号を有した。他方、李成桂が高麗を倒して建国した朝鮮王朝は、明の年号を用いた。

ベトナムでは、陳朝は、13世紀後半にモンゴル（元）の侵攻を退けたが、15世紀に入りいったん明に併合された。まもなく明から独立を回復した黎利は（後）黎朝をおこし、独自の年号「順天」を制定した。後黎朝の以降、ベトナムの王朝は、明・清

と長らく朝貢関係が続けていたが、独自の年号を用いてきた。16世紀にベトナム北部に成立した莫朝では「大正」が用いられた。ベトナムの各王朝は、1771年に起こった西山の乱などの政治的混乱期にも、また、1802年に(5)がベトナムを統一し、国名を「越南」と定め、1804年に清によってベトナム(越南)国王に封ぜられた阮朝の時代も、それぞれ独自の年号を用い続けた。

1616年には、女真族のヌルハチが、後金を建国した。この王朝は国号を清と改めた。この清の年号を、朝鮮王朝は、1637年から19世紀末まで用いたが、ようやく1894年になって、高宗が、太祖である李成桂が朝鮮王朝の初代国王に就いた1392年を「開国」元年として、朝鮮独自の年号を正式に定めた。その後、朝鮮王朝は、1897年(f)から大韓帝国の国号を用いるようになったが、日本に併合されるまで、独自の年号を用い続けた。

このように、年号は東アジアだけで用いられたが、その中でも、中国の年号を用いずに、または中国の年号とともに、独自の年号を制定して用いた国もある。これらの国が独自の年号を用いたのは、おもに()(g)ためであったと考えられる。

設問1 空欄(1~5)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。なお、(2)(3)(4)(5)には人名が入る。

設問2 下線部(a)について。この女性皇帝が唐を改名して新たに付けた国号は何か。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 金 ② 晋 ③ 周 ④ 遼 ⑤ 夏

設問3 下線部(b)について。五代十国の時代に、朱全忠が建国した国は何と呼ばれるか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 宋 ② 後梁 ③ 呉 ④ 楚 ⑤ 前蜀

設問4 下線部(c)について。契丹(遼)が、後晋の建国に助力した代償に得た中国の地域名はどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 東丹 ② 寧江州 ③ 西京 ④ 安南州 ⑤ 燕雲十六州

設問5 下線部(d)について。この王朝の時代に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 民間人の海上交易を禁止したが、密貿易が広がり、統制を緩和した。
② 永楽帝が派遣した大艦隊は、インド洋からアフリカ東岸まで達した。
③ オイラトに大敗した後、長城を改修した。
④ 陽明学を官学として科挙制を整備した。
⑤ 景德鎮に代表される窯業が発展した。

設問6 下線部(e)について。この者が創始した王朝に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ヌルハチは、満州族の成人男性を、八旗と呼ばれる軍団組織に所属させた。
② ホンタイジは、国号をアイシンから清と改めた。
③ 順治帝は、中国東北の瀋陽を首都とした。
④ 康熙帝は、4万字あまりの漢字を集めた字典を編纂した。
⑤ 雍正帝は、ロシアと、1727年にキャフタ条約を結んだ。

設問7 下線部(f)について。この年号を用いて朝鮮の側で「開国485年」と呼ばれる年に、朝鮮はある外国と条約を結んで、3つの港を開港することを約束した。条約に基づいて開港したのは、元山と仁川のほか、もう1つある。その港はどこか。その名称を答えなさい。

設問8 下線部(g)について。空欄に入る適切な語句を、本文の全体の趣旨をふまえて、15字以内で答えなさい。

II つぎの文章 (A～C) は台湾をめぐる歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(25点)

A 台湾は台湾海峡をはさんで中国大陸と向かいあう、面積が九州ほどの島であり、歴史上、大陸との政治的な一体化と分離を繰り返している。このような状況は、現在の台湾の住民構成にも反映している。台湾の住民はおおよそ先住民と漢民族に大別できる。第二次世界大戦前からの住民であった漢民族は、さらに閩南系住民と客家系住民にわけることができる。戦後になって中国大陸各地から渡ってきた人々は (1) とよばれている。

16世紀前半までは、台湾は先住民の土地であり、大陸とは政治的関係が存在しなかった。また、複数の民族集団にわかれていた先住民には、統一した政権もなかった。16世紀後半になると、漢民族が大陸から渡来するようになる。このころはヨーロッパの勢力が台湾にやってくる時期でもあった。

最初に台湾の存在を認識したヨーロッパ人は、16世紀半ばにやってきたポルトガル人であった。しかし、台湾に拠点を設けたのは、その後に勢力を拡大したオランダとスペインであった。そして最終的に、オランダが1642年にスペインを駆逐して、この地を植民地として統治する最初の外来政権となった。

20年ほど続いたオランダの統治は、1662年に終わりをつげた。明朝の復興をはかる (2) が、台湾を拠点としたためである。当時、明は清の圧迫で滅亡の危機にあった。(2) が打ち立てた台湾の政権は3代続いた。この間、政権の基盤強化のために開墾が奨励され、漢民族が大量に入植する契機となる。しかし、この政権は清朝がおこなった対抗措置としての海禁政策などにより弱体化し、1683年には清朝に帰順した。その結果、台湾は清朝の統治下に入り、福建省に編入された。こうして、台湾ははじめて大陸と政治的に一体化したのである。

B 清朝は当初、反乱が頻発する台湾が再び反清の根拠地になることを恐れ、大陸からの移民を禁じた。しかし、それにもかかわらず多くの漢民族が渡航し、今日の閩南系や客家系住民の祖となっていた。

消極的な台湾統治をおこなっていた清朝は、1840年に勃発したアヘン戦争以降、

積極的統治に徐々に舵を切ってゆく。特に、1874年の日本による台湾出兵や、1884年におきた（ 3 ）を直接的な契機として、1885年には台湾を省に昇格させた。そして、初代巡撫となった劉銘伝が通信網の整備や鉄道の敷設をおこなうなど、台湾の近代化を推進した。^(f)

しかしながら、しばらくして台湾は大陸から分離を余儀なくされることになる。1895年、日清戦争で敗北した清朝が台湾を日本に割譲したのである。この割譲に際し、台湾では（ 4 ）を組織するなどの抵抗はあったが、最終的に日本軍に鎮圧され、植民地として日本の統治下に入ることとなった。^(g)

C 1945年、日本の敗戦を契機に植民地支配を脱した台湾は、中国国民党が指導的地位にあった中華民国の統治下に入った。台湾は再び大陸と一体化したわけであるが、これはつかの間のできごとであった。1949年に、国共内戦に敗れた国民党政府が台湾に移り、台湾海峡をはさんで共産党政権と対峙したためである。台湾は再び大陸から分離したのであった。

台湾の住民は1945年の接收当初、国民党政府による統治を歓迎していた。しかし、政府機関による差別的待遇や、社会的混乱・インフレなどのために、次第に現状に不満を抱くようになった。そして、1947年に、のちに（ 5 ）とよばれる大規模な蜂起がおきた。国民党政府はこれを徹底的に弾圧し、1949年には全島に戒厳令を発令した。以後、台湾では約40年にわたって専制的な体制が続いた。^(h)

この専制体制に終止符を打ち、現在まで続く民主体制に舵が切られるのは、1980年代後半から1990年代にかけてである。まず1986年に、国民党以外の人々が民主進歩党を結成した。1987年には戒厳令が解除され、翌年には言論統制と集会結社の禁止が撤廃された。さらに1991年には国共内戦の終結が宣言される。1996年には総統の直接選挙がはじめて実施され、李登輝が当選した。その後、2000年以降⁽ⁱ⁾は、民主進歩党と中国国民党が交互に与党となっている。

設問1 空欄(1～5)に入るもっとも適切な語句を語群より選び、マーク解答用紙にマークしなさい。なお、同じ語句を2回以上使用することはできない。

【語群】

- | | | |
|-----------|--------|----------|
| ① 清仏戦争 | ② 光州事件 | ③ アロー戦争 |
| ④ 江華島事件 | ⑤ 鄭成功 | ⑥ 外省人 |
| ⑦ 鄭和 | ⑧ 三国干渉 | ⑨ 台湾民主国 |
| ⑩ 血の日曜日事件 | ⑪ 本省人 | ⑫ 義和団 |
| ⑬ 義兵闘争 | ⑭ 黒旗軍 | ⑮ 二・二八事件 |
| ⑯ 回民 | ⑰ 鄭玄 | ⑱ 鄭芝竜 |
| ⑲ 九・三〇事件 | ⑳ 渡来人 | |

設問2 下線部(a)について。台湾の先住民の言語はマレーシア語やインドネシア語・タガログ語などと同系である。これらが属する語族はどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① オーストロアジア語族
- ② オーストロネシア語族
- ③ シナ=チベット語族
- ④ ウラル語族
- ⑤ アルタイ語族

設問3 下線部(b)について。客家とは漢民族に属するエスニックグループの1つである。以下の人物のうち、客家系である人物は誰か。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 洪秀全
- ② 李鴻章
- ③ 林則徐
- ④ 張作霖
- ⑤ 袁世凱

設問4 下線部(c)について。17世紀にオランダが獲得した拠点は、台湾以外ではどこか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① マカオ ② マニラ ③ ゴア
- ④ バタヴィア ⑤ ボンベイ

設問5 下線部(d)について。この海禁政策は台湾領有後に解除された。解除後の状況として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ヨーロッパの貿易船も清への来航を認められた。
- ② 清からの主要な輸出品は茶・生糸・陶磁器などであった。
- ③ 海外移住は禁止されていたが、東南アジアに移住する人々もいた。
- ④ 海上貿易が発展したことで、銀が大量に国外に流出しはじめた。
- ⑤ 民間貿易の管理のために海関が沿岸部に設置された。

設問6 下線部(e)について。清朝は台湾を直轄地としたが、それ以外の直轄地はどこか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① モンゴル ② チベット ③ 新疆
- ④ 青海 ⑤ 満洲

設問7 下線部(f)について。初代巡撫の劉銘伝がおこなった政策は洋務運動と関係があるが、この運動の基本思想を述べることばとは何か。漢字4字で答えなさい。

設問8 下線部(g)について。台湾など日本の植民地で、特に日中戦争以降実施された皇民化政策とはどのようなものか。具体例を2つあげ、その特徴を30字以内で述べなさい。

設問9 下線部(h)について。この間の台湾に関係するできごととして正しいものは、

どれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 朝鮮戦争に際し、義勇軍を派遣した。
- ② 1978年に日本と平和友好条約を締結した。
- ③ 1970年代になって国際連合の代表権がはじめて認められた。
- ④ 軍部のクーデタにより軍人政権が誕生し、民主化運動を弾圧した。
- ⑤ 一連の農地改革が実施され、農業の生産力が向上した。

設問10 下線部(i)について。2000年以降総統になった人物の順序として正しいも

のはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 陳水扁—蔡英文—馬英九
- ② 蔡英文—陳水扁—馬英九
- ③ 陳水扁—馬英九—蔡英文
- ④ 馬英九—陳水扁—蔡英文
- ⑤ 馬英九—蔡英文—陳水扁

Ⅲ つぎの文章（A～G）は、暦の歴史について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。（25点）

A 本日は2020年2月12日である。この日付は、完全に一義的ではないにせよ、世界中のほとんどの人々の間で共有されている。このような全人類的な日付の共有がなされるまでには長い歴史が存在する。

人類は、その誕生以来、長い間、狩猟採集生活をしてきた。この間は、やや漠然とした形で季節の移ろいにあわせた食料採集のあり方が経験的に共有されていればよかった。しかし、人類が定住し、農耕を開始すると、とりわけ種まきの時期を正確に特定する必要性が生じた。^(a) とはいえ、人々が定住しているのであれば、この特定はさほど難しくはなかったであろう。なぜなら、定住地から観測していれば、季節により太陽が沈む位置が移動していることに容易に気づくことができたからである。そして太陽の沈む位置がどこにきたときに種をまくのがよいかという経験上の知識が世代をこえて共有されたことであろう。これが暦の始まりである。

B 夜空に光り輝く月は、完全に欠けた新月の状態から約7日で半月（上弦の月）となり、約7日で満月となり、そして約7日で半月（下弦の月）となり、約7日で再び新月となる。そしてこのプロセスを12回繰り返すとほぼ季節が一巡する。雲さえなければ月の形は誰もがどこからでも容易にみることができる。そのため世界各地で早い時期より月の満ち欠けを利用した暦（太陰暦）がつくられた。ところが、12回の満ち欠けで1年とすると、1年が約360日となるため、徐々に暦と現実の季節とがずれていくことになる。そこで、このずれを補正するため、数年おきに^{うるう}閏月をいれる必要がある。こうした補正を施した太陰暦のことを太陰太陽暦という。こうした太陰太陽暦を採用した最古の文明が^(b)シユメール人によるメソポタミア文明である。その後、この暦は^(c)バビロン捕囚をきっかけとしてユダヤ人に引き継がれていくことになる。

C メソポタミアとならぶ古代エジプト文明では、早い時期から独自の暦が用いられていた。この地では、毎年夏に生じるナイル川の^(d)氾濫により肥沃な土壌が^{ほんらん}運ばれて

きた。この氾濫の時期を人々の間で正確に共有する必要性から、月ではなく太陽の運行に着目した暦、すなわち太陽暦が発達した。エジプト人は、天球上における太陽の位置関係を長年にわたり観察することを通じ、太陽がシリウスのすぐ後ろに位置するとき、すなわち日の出に先駆ける形でシリウスが東の空に見えはじめるときにナイルの氾濫が生じることに気づいた。また、彼らはこうした観察を通して1年が365.25日であることをつきとめた。

D 前48年、ローマの将軍ユリウス=カエサル^(e)がエジプトの地に上陸した。この地で太陽暦に接した彼は、帰国後、最高神官 (pontifex maximus) としての権限に基づき、これまで太陰太陽暦を用いていたローマの暦を太陽暦に改めた。月の名称は従来のものを踏襲しつつも実際の月の満ち欠けとひと月とが連動しないものとし、各月の合計を365日とし、4年に1度閏年を設け、この年には2月を1日長くするものとした。また彼は年初から数えて7番目の月の名称を「ユリウス (Julius)」と改めた。彼が共和政信奉者の手によって暗殺された後、閏年は誤って3年に1度とされてしまったが、^(f)紀元後8年、アウグストゥスにより4年に1度と補正された。この時、8番目の月の名称が「アウグストゥス (Augustus)」と変更された。このようにして確定されたユリウス暦は、ローマ帝国の拡大とともに普及していくことになる。

E 元来ローマでは、都市ローマの建設年を元年とする紀年法が用いられていたが、その後、ディオクレティアヌス帝の即位年を元年とする紀年法がキリスト教徒の間で用いられるようになった。そして、ローマ帝国がキリスト教化していくなかで^(g)この紀年法が一般的に用いられるに至った。そうした中、6世紀の神学者ディオニュシウス=エクシグウスは、キリストの生誕年を元年とする新たな紀年法を提唱した。この新たな紀年法は10世紀頃になり西欧の一部の国で用いられはじめ、15世紀以降に一般化していくことになる。

F 7世紀初頭、アラビア半島にてイスラーム教^(h)が誕生した。この宗教の信者の間では、第2代正統カリフのウマルによって定められた独自の暦が用いられた。この暦

では、『クルアーン』の記述に基づき、1年は単純に12ヶ月とされた。これにより1年はおおむね354日となるが、閏月による調整はされないものとなっている。この暦によると第9月は「ラマダーン」と呼ばれ、この月にイスラーム法に基づき、ムスリムは断食⁽ⁱ⁾すべきものとされた。また、ヒジュラを元年とする紀年法も導入された。こうした暦は、イスラーム世界の拡大とともに世界中へと広まっていくことになる。

G 福音書が伝えるところによると、十字架の刑に処せられて死亡したイエス=キリストはその後復活した。この復活を祝うのが復活祭であり、ニケーア公会議^(j) (325年)により、これは春分の日をすぎた最初の満月の次の日曜日に祝われるものとなった。昼と夜の時間が同じになる春分の日がいつであるかは、太陽の南中高度から認識することができる。こうした方法で判明する春分の日は、ニケーア公会議の頃は、3月21日頃であったが、それから長い年月が流れるなかで、徐々に季節と暦との間にずれがひろがり、16世紀になると、3月11日頃に春分の日を迎えることになってしまった。このずれは、ユリウス暦が1年を365.25日とするが、実際の太陽年は365.2422日であったことに起因する。このままにしておくことさらにずれが大きくなり、復活祭が春分の季節感とずれてしまいかねない。そこで、教皇 (pontifex maximus) のグレゴリウス13世^(k)は、ユリウス暦に修正を加え、その日付を10日後ろにずらすことにし、1582年に限り、10月4日の翌日が10月15日となるものとされた。また、今後、閏年を400年で3回はぶくことにした。このようにしてできあがった暦がグレゴリウス暦^(l)であり、この暦は西ヨーロッパ世界の拡大とともに世界の標準的暦となった。日本もまたこの暦を採用している。

設問1 下線部(a)について。人類の定住、農耕の開始、その影響に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 約1万年前に氷期がおわり間氷期を迎えた後、狩猟・採集・漁撈を中心とする生活から家畜飼育や農耕を中心とする生活への転換がおこった。
- ② 麦は、約9000年前頃に西アジアで栽培が開始され、その後、地中海沿岸域へその栽培域は広がっていった。
- ③ 前5000年頃に黄河流域で始まった稲作は、その後、長江流域や東南アジアや日本列島へと広がっていった。
- ④ 南アメリカ大陸では、前2000年紀頃からトウモロコシの栽培を中心とする農耕文化が発展した。
- ⑤ 雨水に頼る初期の農業は不安定なものであったが、灌漑農業が開始されたことにより大規模で継続的な集落の形成が可能になり、前4000年紀頃にはオリエントで都市が出現した。

設問2 下線部(b)について。メソポタミア文明に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 「メソポタミア」とは、川の間土地を意味している。
- ② この文明を築いたシュメール人は、ウルク・ウル・ラガシュといった都市国家を築いた。
- ③ シュメール人は、六十進法による時間の区分を発明した。
- ④ シュメール人は、楔形文字を用いた。
- ⑤ シュメール人の都市国家は、前24世紀、アムル人のサルゴン1世により征服された。

設問3 下線部(c)について。バビロン捕囚およびヘブライ人(ユダヤ人)に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ヘブライ人が築いた統一王国は、ダヴィデ王とソロモン王の時代に最盛期を迎えた。
- ② ヘブライ人は、隊商交易を組織し、紅海の海上交易を開拓した。
- ③ ヘブライ人の王国は、ソロモン王の死後、イスラエル王国とユダ王国に分裂した。
- ④ イスラエル王国が新バビロニアに滅ぼされたとき、多くの住民がバビロンに連れ去られた。
- ⑤ バビロンのユダヤ人たちは、キュロス2世によって捕囚から解放された。

設問4 下線部(d)について。古代エジプト文明に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 古王国時代に、多数の巨大なピラミッドが建設された。
- ② 中王国時代の中心都市は、ナイル下流域のメンフィスであった。
- ③ 中王国時代の末期にヒクソスが侵入し混乱が生じたが、新王国時代になり、ヒクソスの支配から脱却した。
- ④ 新王国時代にアメンホテプ4世はテル=エル=アマルナに都を移した。
- ⑤ この文明では、ヒエログリフという象形文字や、これを簡略化したデモティックが用いられた。

設問5 下線部(e)について。この人物に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ポンペイウスとクラッススとともに三頭政治をおこなった。
- ② ガリア遠征をおこなった。
- ③ 同盟市戦争で勝利した。
- ④ ポンペイウスとの戦いに勝利した。
- ⑤ 独裁官に就任した。

設問6 下線部(f)について。ローマの共和政体制に関して記述したものとして誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 最高官職として任期1年のコンスルが選挙により選出された。
- ② リキニウス・セクスティウス法により、コンスルのうちの1人は平民から選ばれるべきものとされた。
- ③ 平民出身の護民官は、元老院やコンスルの決定に拒否権を行使することができた。
- ④ 平民だけで構成される平民会の決議は、ホルテンシウス法により国法となるものとされた。
- ⑤ 実質上の最高決定機関は、公職経験者によって構成される民会であった。

設問7 下線部(g)について。ローマ皇帝のキリスト教への関わり方について記述したものとして誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ネロ帝は、ローマの大火の後、多数のキリスト教徒を殺害した。
- ② デイオクレティアヌス帝は、国家祭儀への参加を拒絶したとして、キリスト教徒を迫害した。
- ③ コンスタンティヌス帝は、ミラノ勅令を発し、キリスト教を公認した。
- ④ ユリアヌス帝は、多神教の神々の信仰を禁止し、背教者と呼ばれた。
- ⑤ テオドシウス帝は、キリスト教以外の宗教を禁止した。

設問8 下線部(h)について。イスラーム教の誕生に関して記述したものとして誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① メッカに生まれたクライシュ族のムハンマドがイスラーム教を唱えた。
- ② ムハンマドは、自分はアッラーの言葉を伝える預言者であるとして教えを広めた。
- ③ ムハンマドは、キリストは預言者ではないとしてキリスト教を排撃した。
- ④ ムハンマドは、メッカの有力者によって迫害され、メディナに逃れた。
- ⑤ ハディースは、ムハンマドの言行を伝える書である。

設問9 下線部(i)について。断食は五行の1つであるとされるが、五行にあたらな
いものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 信仰告白
- ② 礼拝
- ③ 巡礼
- ④ 喜捨
- ⑤ 告解

設問10 下線部(j)について。この公会議に関する記述として誤っているものはどれ
か。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① この公会議には各地のキリスト教会の代表者が参集し、教義の統一につ
いての審議がなされた。
- ② この公会議を招集したのは、コンスタンティヌス帝である。
- ③ この公会議では、キリストを神と同一視するアタナシウスの説が正統と
された。
- ④ 『教会史』を著したことで知られるエウセビオスもこの公会議に参加し
た。
- ⑤ この公会議では、人間としてのイエスを唱えるネストリウス派が異端と
された。

設問11 下線部(k)について。グレゴリウス 13 世の教皇在位は 1572 年から 1585 年までであった。この間の出来事を記したものとして誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① フランスでは、旧教徒が多数の新教徒を殺害したサンバルテルミの虐殺がおきた。
- ② イングランド王メアリ 1 世により私掠特許状を受け取ったドレークらがスペイン船への攻撃を繰り返していた。
- ③ スペイン王フェリペ 2 世は、ポルトガル王位も取得し、ポルトガルの植民地もその支配下におさめた。
- ④ ネーデルラントの北部 7 州は、イギリスの援助を受け、スペインからの独立を宣言した。
- ⑤ イエズス会の支援の下、日本から派遣された天正遣欧使節がローマに到着した。

設問12 下線部(l)について。教皇による改暦後しばらくの間、西欧諸国には、従来のユリウス暦を使い続ける国々とその新たなグレゴリウス暦に改めた国々の双方が存在した。前者に属する国の 1 つにイギリスがある。イギリスがグレゴリウス暦の採用をみおкуった理由を 20 字以上 25 字以内で説明しなさい。

IV つぎの文章は皇帝について述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(25点)

皇帝というものについて考えてみよう。ただし歴史上のあらゆる「皇帝」を対象にするととんでもないことになるので、おそらくこれまで星の数ほど出現した単なる自称や通称の皇帝は無視して、ある程度正式の、または公式の皇帝に話を限定したい。

中国史の場合であれば、この言葉の意味は明確である。始皇帝^(a)が採用した称号であって、王よりも上位であるとされ、溥儀にいたるまで中国の統一王朝の君主はこの称号を用いつづけた。

それに対し西洋史の場合では、かなり様相が異なっている。そもそも西洋の歴史に、それとまったく異なる古代中国でつくられた言葉を使用することがふさわしいのかどうかという問題もあるが、いずれにせよ西洋における「皇帝」は中国史ほど明晰判明な概念ではなかった。

西洋の歴史において皇帝はいつ登場するのだろうか。最初の皇帝、つまり西洋の始皇帝というべき人物は誰なのか。そして皇帝とは何なのか。ある国語辞典で「皇帝」の項目を引くと、単純明快に「帝国の君主」と教えてくれる。だとすると西洋史において最初の帝国を調べれば最初の皇帝も判明することになる。たとえば古代エジプトはふつう帝国とは呼ばれない。その君主はファラオと称され、これは「大きな家」を意味しており「王」と訳されて、エジプトの歴史記述には「王国」や「王朝」という語が用いられる。国語辞典にしたがうなら王国には皇帝はいない。したがってエジプトには皇帝は存在しない。けれども歴史記述において用語は必ずしも厳密に統一されているわけではない。たとえば、高校の教科書においても表現は分かれており、古代ペルシアに関しては、それを「アケメネス朝ペルシア帝国」と記す教科書もあれば、ただ「アケメネス朝ペルシア」と記す教科書もある。ただしどの教科書においても、「王の道」は「王の道」であって「皇帝の道」ではない。要するに、皇帝がいない帝国も存在するのである。

では、あらためて考えてみよう。西洋の歴史において最初の皇帝は誰なのか。おそらくそんなの簡単だよ、と世界史を少しばかり真面目に勉強した人は思うだろうし、即座にある人物の名前を挙げるのではないだろうか。エジプトにもペルシアにもギリ

シアにもユダヤにも皇帝は登場しない。たとえばアレクサンドロスも「大王」と記されていて「皇帝」ではない。西洋における最初の皇帝はオクタウィアヌスである。彼が「アウグストゥス」という尊称を贈られたときローマの帝政は始まったと覚えている人も多いはずだ。けれども、事情はもう少し複雑である。そもそも彼は、始皇帝のように、自分を皇帝と称したのだろうか。あるいは自分のことを皇帝であると思っただろうか。ローマ帝国の公用語である言語で、皇帝を意味する単語とは何だったのか。たとえば、ある教科書では、この尊称の附与が「実質的な帝政のはじまりとなった」と述べて、欄外に以下のような注を記している。「こののち、インペラトルやアウグストゥス、カエサルといったことばが、皇帝の地位を示すようになった。」つまり当時のローマに単独で皇帝を表わす言葉が存在したわけではなく、しかも挙げられている3つの語も「皇帝を意味する」と単純にいわれるのではなくて、「皇帝の地位を示す」と少しばかり婉曲的な物言いになっている。さらには、なぜ3つも言葉が存在するのだろうか。こうしたことは何を意味するのだろうか。また「実質的な帝政のはじまり」という言い方にも注意が必要だ。この点では他の教科書も同様で、たとえば、「……事実上の皇帝となった」、「……事実上の皇帝独裁であった」などと説明されている。

この「実質的」とか「事実上」がどういう意味なのか考えてみると興味深いと思うが、先を急ごう。オクタウィアヌスが「事実上」始めた帝政は、3世紀になると軍人皇帝時代といわれる長い混迷状態に陥ることになる。^(b)ディオクレティアヌス帝がこの混乱を収め、しばらくは安定した時期がつづく。けれども4世紀後半にはゲルマン人^(c)の大移動が始まり、その混乱のなかローマ帝国は西と東に分裂する。帝国がこのように東西に分裂し西と東にそれぞれの皇帝が君臨したことが中世以降のヨーロッパの歴史に少なからぬ影響を与えることになる。

さて、ゲルマン人の移動による混乱のなか西ローマ帝国は476年に滅亡したと通常はみなされる。その後800年にフランク王国カロリング朝のカールが皇帝に即位し、かくして西ローマ帝国の復活が宣言される。カロリング朝が断絶した後には、962年に今度は(1)朝の王オットー1世が皇帝に即位し、のちに神聖ローマ帝国と称される新たな帝国が始まる、あるいはふたたび西のローマ帝国が復活する。要するに神聖ローマ皇帝は、かつての西ローマ帝国を引き継ぐという形で「皇帝」という称号^(d)

を用いているのである。さらに言うなら、このとき皇帝は諸国の王の上に君臨することになり、かくして西洋の「皇帝」は古代中国の「皇帝」の語義に近づいたと言うこともできるだろう。

一方、東ローマ帝国（ビザンツ帝国）はゲルマン人の移動によって大きな被害をこうむることはなく、官僚制が維持されそれにもとづく皇帝支配がつづいた。ユスティニアヌスの時代には一時的に地中海のほぼ全域を支配下に置くが、それも長続きはせず、その後支配圏は縮小していく。7世紀以降は公用語が（A）語から（B）語に変わったこともあって、西欧のローマ=カトリックの世界とはずいぶん異なる文化を発展させていくことになる。こうしたビザンツ帝国も15世紀になるとついに滅亡する。しかしこれで東のローマ帝国の系統がとだえたわけではない。東ローマ帝国に関しても、少々強引な形ではあれ、後継者が登場する。モスクワ大公国のイヴァン3世がビザンツ最後の皇帝の姪と結婚し、「カエサル」に由来するロシア語であるツァーリの称号をもち、ビザンツ皇帝の後継者を自任したのである。とはいえこうしたモスクワ大公国がただちに帝国として、またその君主が皇帝として、西欧世界に認められたわけではない。それには18世紀のピョートル1世の出現を待たねばならなかった。ピョートルは1721年「皇帝（インペラートル）」の称号を手に入れる。その後、国力の増大にともなって国際的な発言力もまし、西欧世界も皇帝という称号を認めることになる。通常はこの1721年がロシア帝国の始まりとみなされる。

かくして18世紀になると、西洋には、西ローマ帝国の皇帝を受け継ぐ（と称される）神聖ローマ皇帝と、東ローマ帝国の皇帝を受け継ぐ（と称される）ロシア皇帝という、2つの皇帝の称号が存在することになった。その後、この西の皇帝と東の皇帝は、1805年12月にある戦場で遭遇することになる。テオドシウス帝が帝国を東西に分割したときから数えると、約1400年後の出来事だった。

設問1 下線部(a)について。始皇帝の統治に関する記述として正しいものはどれか。

1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 遊牧民の国家である匈奴や突厥をしりぞけ長城を修復した。
- ② 郡県制を施行し、地方の豪族を優遇した。
- ③ 儒家を弾圧し、対立する墨家の思想を奨励した。
- ④ 統一に先立ち、商鞅を重用し秦の国政改革をはかった。
- ⑤ 半両銭という青銅貨幣を通用させた。

設問2 下線部(b)について。プリンキパトゥスとも称されるアウグストゥスの統治は同じ「皇帝」という言葉を用いていても、秦の始皇帝の統治とはずいぶん異なるものだった。むしろドミナトゥスと称されるディオクレティアヌス帝以降の統治の方が始皇帝の統治と多くの共通点を有していたと言えるだろう。まずドミナトゥスの特徴を述べ、それと対比する形でアウグストゥスの統治の特徴を40字以内で説明しなさい。

設問3 下線部(c)について。ゲルマン人に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① クローヴィスの改宗以前、ゲルマンの部族の多くはアリウス派キリスト教を信仰していた。
- ② ゲルマン人の移動により先住のケルト人はブリテン島に追いやられ、ヘプターキーを建てた。
- ③ フン人の圧迫を受けた西ゴート人はローマ帝国に庇護を求めた。
- ④ ローマ帝政後期には傭兵として帝国内に移住するものも現れた。
- ⑤ ローマの歴史家タキトゥスは『ゲルマニア』を著わしゲルマン社会の記録を残した。

設問4 空欄(1)に入るもっとも適切な語句はどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① カペー ② ザクセン ③ テューダー
④ ハノーヴァー ⑤ ルクセンブルク

設問5 下線部(d)について。神聖ローマ皇帝に関する記述として正しいものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 皇帝オットー1世は帝冠を受けられる見返りとして、聖職者の任免権を教皇に委ねた。
② 皇帝ハインリヒ4世は教皇インノケンティウス3世と聖職者の任免権をめぐる争った。
③ 皇帝フリードリヒ2世はマムルーク朝との交渉によりエルサレムを一時的に回復した。
④ 皇帝カール4世は帝国宮廷をプラハに移した。
⑤ 皇帝カール5世はルターを保護し、聖書の翻訳を支援した。

設問6 下線部(e)について。ビザンツ帝国の支配圏の縮小および滅亡に関する記述として正しいものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 7世紀にマジャール人が建てたブルガリア王国によってドナウ川沿岸を奪われた。
② カラハン朝におびやかされたビザンツ帝国が教皇に援軍を求めたことから十字軍派遣は始まった。
③ 13世紀以降、地中海貿易の覇権をフィレンツェに奪われた。
④ 第4回十字軍はビザンツ帝国の首都を占領し、新たな帝国を建国した。
⑤ スレイマン1世ひきいるオスマン帝国軍によって首都が陥落しビザンツ帝国は滅んだ。

設問7 空欄(A)(B)に入る言語名を答えなさい。

設問8 下線部(f)について。モスクワ大公国に関する記述として正しいものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① 大公ウラジーミル1世がギリシア正教に改宗した。
- ② 15世紀にチャガタイ=ハン国から独立した。
- ③ キリスト教布教のためキリル文字を考案した。
- ④ イヴァン3世はノヴゴロド国を併合した。
- ⑤ イヴァン4世はベーリングにカムチャツカ半島の探検を命じた。

設問9 下線部(g)について。ビザンツ帝国(東ローマ帝国)の後継者を自任するモスクワ大公国では、16世紀になるとモスクワこそ「第3のローマ」であるという主張があらわれる。この主張において「第2のローマ」とみなされた都市の名称は何か。その名称を答えなさい。

設問10 下線部(h)について。ピョートル1世に関する記述として誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

- ① イギリスやオランダを視察し、西欧化政策を実施した。
- ② オスマン帝国と戦いクリミア半島を獲得した。
- ③ 首都をモスクワからペテルブルクに移した。
- ④ 清とネルチンスク条約を結び国境を画定した。
- ⑤ 徴兵制にもとづく常備軍を創設した。

設問11 下線部(i)について。この戦場には、もうひとり皇帝の称号を持つ人物が存在した。この人物は古代ローマの皇帝とも、神聖ローマ皇帝とも、ロシア皇帝とも異なった方法を用いて、1804年に皇帝に即位する。これは独裁者の出現の仕方としてはきわめて逆説的とも言えるし、カールやオットー1世の時代とは社会が大きく変化したという印をそこにみることもできる。この人物が用いた方法とは何か。漢字4字で答えなさい。

